

演題名	With コロナ ～ 安全に楽しく ～		
施設名	ケアセンターけやき 通所介護	(ふりがな) 発表者(職種)	うちやま じゅんいち 内山 純一 (介護福祉士)
(ふりがな) チーム名	コロナ禍でもレクやる団		
分類	③患者サービス・患者満足度の向上をめざすもの		
取り組み種別	問題解決型		
改善しようとした 問題課題	コロナ禍の中でのレクリエーション活動における満足度上げ		
改善の指標と その目標値	(指 標) 通所介護満足度アンケートのなかで一番低かった項目がレク (目標値) レク以外の平均値が4.0点以上のため、レクの項目も4.0点台に引き上げる		
実施した対策	コロナ禍で行えるレク内容の考案 コロナ対策を講じた上でレクに当たるルール作り		
改善指標の 対策実施 前後の変化	(実施前) 満足度アンケート、レク項目平均3.7点 (実施後) 満足度アンケート、レク項目平均4.1点		
歯止めと 標準化	日々の記録にレク活動の評価、参加具合を記録していく マニュアルを作成しファイリングを行う マニュアルを使用し、全職員が同じレクを出来るようにする		
活動の種類 ※複数選択可	①職場単位の活動 ③テーマに合わせて形成したチーム活動	チーム メンバー (職種)	1 舟山 靖紀 作業療法士 2 吉田 明子 看護師 3 中原 美弥子 看護師 4 門傳 尋子 介護福祉士 5 大野 泉 介護福祉士 6 前田 和音 介護福祉士 7 阿部 新太郎 介護福祉士 8 内山 純一 介護福祉士 9 松橋 加奈子 介護福祉士 10 関口 栞 介護士 11 櫻井 貴子 介護士
活動の場 ※複数選択可	②支援部門		
活動期間	令和3年4月 ～ 12月		
リーダー名 (職種)	門傳 尋子(介護福祉士)		
活動回数	10	回	

【現状把握】

満足度アンケートを実施

ケアセンターけやき ご利用者様アンケート		ご利用者様：				
		ご利用者様	ご本人様			
<p>平素より、ケアセンターけやき サービスをご愛顧いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>今回は皆様方日々のサービス提供へのご意見ご感想を頂くため、簡単なアンケートを作成させて頂きました。</p> <p>よろしければお答えして頂いて、次回通所時に連絡帳にてご返信ください。</p>						
1 以下の項目について、あてはまるお気持ちに○をつけてください。						
	5	4	3	2	1	0
01. 食事について	とても満足	まあまあ満足	どちらとも言えない	やや不満	とても不満	該当なし
02. 入浴について	とても満足	まあまあ満足	どちらとも言えない	やや不満	とても不満	該当なし
03. リハビリについて	とても満足	まあまあ満足	どちらとも言えない	やや不満	とても不満	該当なし
04. レクエーション/活動について	とても満足	まあまあ満足	どちらとも言えない	やや不満	とても不満	該当なし

レク活動項目の点数 N=51



【目標設定】

何を	アンケート内 レク項目の点数を
いつまでに	次回アンケート配布時 (10月予定) に
どうする	点数を 4.0以上 にする

【要因解析】

重要要因の検証

検証を要する必要がある

アンケート
Q: 好きなレクはなんですか

皆で歌う・体操・身体を動かすゲームなどが60%を占めている

検証を要する必要がある

職員の問題
⇒ 今回の満足度への影響はない

マスクでの履きしきから体感温度が低い

マスクでのレクを嫌がる人が一定数いる
⇒ 声かけしても運動時は外したいとの声

コロナ禍での運動レクなどに制限がある

合唱（カラオケ）や集団体操
⇒ 歌ったり、掛け声を制限している

音声に制限をしなければいけない

同上の理由による

検証を要する必要がある

コロナ禍によるボランティアの減少
面別でのレクに対応できるほどの職員が足りない
人と人と接触を避けるためのレクの案が乏しい

検証を要する必要がある

外出レクの要望があったが、外出の際に車内での可能性がある

リハビリと同時進行になってしまっている

リハビリの時間とレクの時間が被ってしまっている
⇒ コロナ禍での影響ではない

検証を要する必要がある

ボランティアでのフラワー教室などがなく、つまらないとの意見が多々挙がっている

検証を要する必要がある

個別でのレクに効果的である職員が足りない

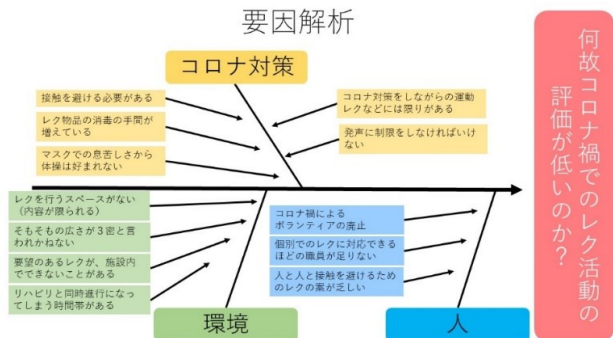
集団レクが行えないが、職員が一人一人に付き添うことは困難

ご利用者より一人で行うレク（既存）はつまらないとの意見あり

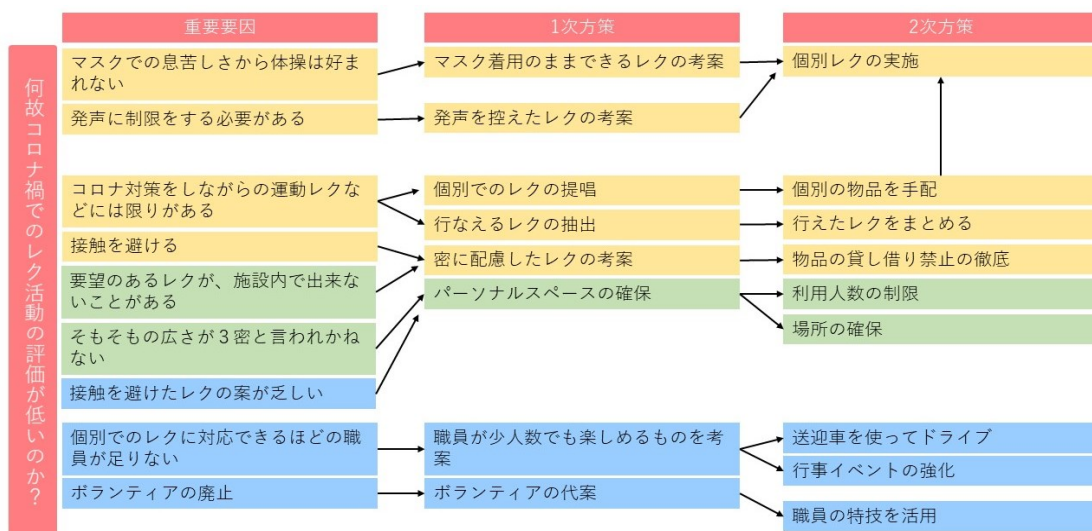
検証を要する必要がある

人と人と接触を避けるためのレクの案が乏しい

個別のレク物品は手の機能練習の物品・プリントが多くマンネリ化している



【対策の立案と実施】

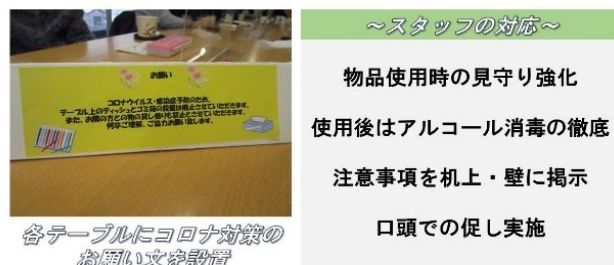


NO	対策（why）	when	where	who	what	how
①	個別レクの実施	8月より	通所介護	内山	個別レクを	実施する
②	個別の物品を手配	7月末までに	通所介護	阿部	個別リハビリの物品を	用意する
③	行えたレクをまとめる	8月から	通所介護	内山 阿部	行なったレクを	記録・評価する
④	貸し借り禁止の徹底	8月末までに	通所介護	大野	禁止ルールを	設定・周知する
⑤	送迎車を使ってドライブ	9月に	東京駅	大野	ドライブイベントを	企画・調整し、実行する
⑥	行事イベントの強化	8月より	通所介護	門傳	行事イベントの	計画をたて実行する

対策の実施：個別レク物品の手配



対策の実施：貸し借り禁止の徹底



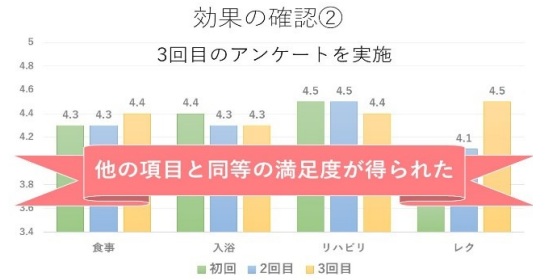
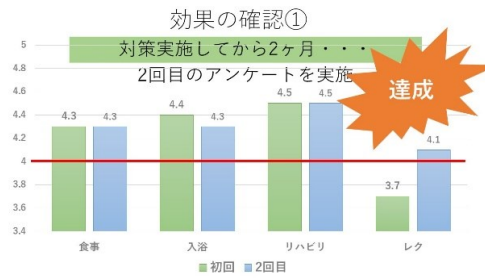
対策の実施：送迎車を使ってドライブ



対策の実施：行事イベントの強化



【効果の確認】



有形効果

イベントの振替により減収を回避

※一人あたり単価 約1,100円

イベント内容	件数	×一人あたり単価
納涼祭	16件	176,000
敬老会	7件	77,000
土曜日イベント	14件	154,000
11月	14件	154,000
クリスマス会	20件	220,000

計858,000円の減収回避

無形効果



【標準化と管理の定着】

区分	対策 (why)	when	where	who	what	how
管理	日々の記録にレク活動の評価、参加具合を記録	毎週	通所介護フロア	前田が	実施したレクの	評価を実施・記録
		毎週	通所介護フロア	前田が	実施したレクの	参加率を記録
標準化	マニュアルを作成しファイリング	毎月	通所介護フロア	内山松橋が	実施したレクの中で好評な物を	マニュアル化する
教育	マニュアルを使用し、全職員が同じレクを出来るように	毎月2回ミーティングにて	通所介護フロア	阿部	マニュアル内容のレクを	レクチャーする

【反省と今後の進め方】

活動内容	良かった点	悪かった点
テーマの選択	決定したテーマ以外にも、現在の問題点と思われる事が把握できた	特になし
現状把握	アンケートを行い、皆様の気持ちを理解できた	アンケート回収が難航した
目標設定	レクでも満足して頂けるよう意識が高まった	特になし
要因解析	多くの問題点を把握できた	フロアの広さなど、変更できない内容が多かった
対策立案	普段あまり意見交換しない内容だったが、皆で話し合うことで団結できた	もっと対策を話し合う時間を持たなかった。
対策実施	考案したレクを実施し、楽しんでもらえた	反応が悪いと悲しかった
効果確認	職員一丸となって頑張った結果が反映された	特になし
標準化	職員全員が同じレクを行えるようになった	共有のためミーティング時間が伸びてしまう
まとめ	利用者様も職員も良い雰囲気になった	特になし